



## 宮古馬

宮古馬は、国内在来馬 8 種の中の 1 種であり、沖縄県の天然記念物に指定されています。現在は 48 頭が宮古馬として登録・飼育されています。

### 保存への取り組み

宮古馬を種として保存していくため、DNA 分析に基づいた親子関係をもとに計画的交配を進めています。交配計画委員会は、遺伝子分析の研究者や、日本馬事協会、宮古馬研究者などの有識者で構成され、種としての安定頭数である 100 頭を目指しています。



生後すぐの仔馬

### 宮古馬利活用に向けて

宮古馬放牧場では、予約制の見学案内を実施しており、宮古馬の歴史や特徴を学ぶとともに、餌やり体験も可能です。乗馬体験など本格的な利活用に向けて、調教も進めています。



## 博物館

宮古島市総合博物館では、宮古の歴史、文化、自然、美術工芸に関する資料の収集保管、調査研究、展示、教育普及活動を行い、地域の魅力を発信しています。常設展示のほか、専門性を深めた企画展を市民の関心に応じて毎年 2~3 回開催。企画展期間中には展示に関連した講演会やワークショップも実施しています。

### 子ども博物館講座

子どもたちが楽しみながら宮古の歴史や自然、文化に触れ、興味関心を深められるよう、史跡巡りや自然散策、縄ない体験など、様々な内容の講座を実施しています。



### 平和展

毎年慰霊の日には戦争をテーマにした平和展を開催し、小中学校への解説や出前講話を実施。戦争体験者の減少が進む中、戦争の記録と記憶を後世へ伝える取り組みを通じて、市民や次世代を担う子どもたちの平和意識を高めることを目指しています。



## 図書館

宮古島市立図書館は、子どもから高齢者、観光客など、誰でも気軽に「集い・学び・交流する」ことができる「市民に開かれた情報センター」です。約 20 万冊の資料を所蔵し、資料の貸出、調べ物の支援、予約やリクエスト等のサービスを提供しています。また、年間を通しておはなし会や郷土の文化と歴史講座など、文化・教育普及のためのイベントを随時開催しています。

### ブックスタート

赤ちゃんと保護者へ絵本をプレゼントする「ブックスタート」。絵本の読み聞かせを通して、親子が心を通わせる時間を大切にしています。子どもたちが自然に本と出会い、身近に感じられる機会を広げています。



### いつでもどこでも読書体験

365 日 24 時間、いつでもどこでも利用できる電子図書館サービスを提供しています。時間や場所にとらわれず本に親しめる環境を整え、学びの可能性を広げるとともに、本をより身近なものとし、読書週間の定着と向上を図っています。



# 島の風景



与那覇前浜と来間大橋



池間大橋



全日本トライアスロン宮古島大会



クバクンダイ鍾乳洞



サニツ浜カーニバル



宮古島の海びらき



クイチャーフェスティバル



なりやまあやぐまつり



砂山



イムギヤーマリンガーデン



宮古まつり



ミヤークツツ西原



比嘉の二十日正月



ハーリー

# 交流



宮古島市は、姉妹都市、友好都市、交流都市との連携協定を通じて、文化交流や相互理解の促進に取り組んでいます。これらの都市との協力により経済活動や教育分野での発展を目指し、市民の国際的な視野を広げる機会を提供しています。また、民間レベルでの交流を進めることで関係人口の拡大を図り、地元企業や住民同士のつながりを強化しています。さらに、国際人材の育成を推進し、グローバルな社会で活躍できる人材の育成に貢献することを期待しています。

## 1 姉妹都市 岡山県 津山市

昭和38年、平良第一小学校の校長先生が研修で津山市立南小学校に派遣されたことを契機に、両校が姉妹校縁組を締結。教育交流を基盤として友好関係が深まり、昭和40年に旧平良市と津山市が姉妹都市協定を締結しました。現在も姉妹校同士の相互訪問や青年会議所による交流など幅広い分野で交流が続いています。



## 2 姉妹都市 米国ハワイ州 マウイ郡

気候や風土、産業、人口構成などの共通点から、元ハワイ沖縄県人会長の働きかけを契機に交流が進み、昭和40年に旧平良市とマウイ郡が姉妹都市協定を締結しました。以降、友好親善訪問団の相互派遣などを通じ、長年にわたり友好関係を築いています。2011年からは宮古島市の中高生を対象とした海外ホームステイ事業により、マウイ島での交流を深めています。



## 3 姉妹都市 台湾 基隆市

基隆港と平良港を結ぶクルーズ船の就航や、基隆港を出発し先島地域(宮古・石垣)を到着地点とする国際ヨットレースの開催などを通じて民間交流が拡大したことを背景に、平成19年に姉妹都市協定を締結しました。以降、両市の首長や議会関係者の相互訪問や地元祭事への参加などを通じ、相互理解と友好を深めています。



## 4 友好都市 東京都 世田谷区

昭和37年の豆記者団による宮古島への来島を契機に、昭和55年頃に両地域で開催される「宮古まつり」や「せたがやふるさと区民まつり」への相互参加を通じて行政・民間の交流が本格化しました。平成17年に友好都市提携として「友情のきずな確認書」を取り交わし、議会関係者などによる多様な交流を進めています。



## 5 友好都市 福島県 西会津町

平成7年、東京で開催された健康福祉関係会議において両首長が意見交換を行ったことをきっかけに交流が始まりました。平良市が在宅健康管理システム導入を目指し西会津町を視察したことを契機に、健康づくり分野での人的交流が進展し、友好都市協定を締結しました。現在は物産交流による相互訪問も含めた交流が続いています。



## 7 友好都市 熊本県 山鹿市

平成26年、学力向上対策の先進地である山鹿市から教育長を招き、講演会を開催したことをきっかけに交流が発展し、令和5年に友好都市協定を締結しました。現在までに、日本そばの栽培や物産交流、青少年のスポーツ大会や修学旅行における相互交流、両市の民間団体による交流推進協議会の発足など幅広い分野で相互交流を行っています。



## 9 交流都市 北海道 室蘭市

1796年に室蘭港へ入港した英国船プロビデンス号が、翌年に宮古島沖で座礁した際に池間島住民が乗組員を救助した史実が縁となりました。1996年に室蘭市で開催された来港200年記念事業に旧平良市長が参加したことを契機に交流が開始。平成10年に「海と船のロマンが結ぶ交流都市」協定締結後、双方の民間団体が主となり児童交流などが行われました。



## 11 交流都市 岐阜県 白川町

平成13年、白川町長と宮古広域事務組合との交流をきっかけに、旧下地町との海・山交流が始まりました。議員団の相互訪問や「美濃白川ふるさとまつり」への参加を経て、児童交流へと発展し、平成16年に交流都市協定を締結。現在も下地小学校と白川町の学校がそれぞれ冬と夏に互いの地域を訪問する体験交流事業が行われています。



## 6 友好都市 静岡県 藤枝市

平成20年、藤枝市の技術系企業と宮古島漁業協同組合が連携し、半生もずくの商品化に成功したことを契機に交流が始まりました。その後、物産交流を中心に関係が深まり、平成23年に友好都市協定を締結。現在は行政レベルでの継続的な訪問に加え、経済団体やスポーツ分野などにおいて多様な交流が行われています。



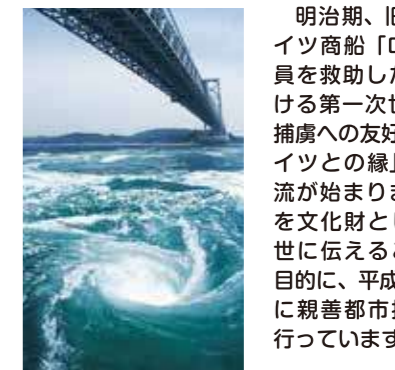
## 8 交流都市 新潟県 上越市

琉球王朝時代から260年続いた過酷な「人头税」の廃止運動の中心人物である中村十作氏が、上越市板倉区の出身であることを縁に交流が始まりました。昭和60年、旧城辺町と旧板倉町が交流都市協定を締結。現在も宮古島市の城辺地区と上越市の板倉区の児童による相互訪問を通じて、歴史を学び合う交流が続いています。



## 10 交流都市 徳島県 鳴門市

明治期、旧上野村で遭難したドイツ商船「ロベルトソン号」の船員を救助した史実と、鳴門市における第一次世界大戦時のドイツ人捕虜への友好人道的対応という「ドイツとの縁」を背景に、歴史的交流が始まりました。これらの史実を文化財として後世に伝えることを目的に、平成15年に親善都市提携を行っています。



## 12 交流都市 栃木県 市貝町

宮古島市の市鳥に指定されている渡り鳥・サシバの繁殖地である市貝町と飛来地である伊良部島との縁をきっかけに交流が始まり、平成29年に交流都市協定を締結。国際サシバサミットの発足においては、第1回目が市貝町、第2回目が宮古島市で開催されました。現在は児童交流や両市町での物産展開催などでも交流を深めています。

